

# Research Report

2024年 **1** 月

リサーチレポート

## Contents

- この人に聞く  
岩手 2024年の業界見通し



いわぎんリサーチ&コンサルティング株式会社



## この人に聞く 岩手 2024年の業界見通し

新年の経済はどのような動きになるでしょうか。当社では、日本銀行の大西浩一郎盛岡事務所長に今後の見通しなどについてお聞きするとともに、県内の主な業界の代表者や企業経営者の方々に業界の動向などについてお尋ねしました。



### 2024年の岩手県経済の展望

日本銀行盛岡事務所 所長 大西 浩一郎 氏

#### わが国経済の現状と先行き見通し

わが国の景気は緩やかに回復している。企業部門をみると、輸出は、情報通信関連で弱さがみられるが、自動車関連の増加を背景に、全体としては感染症前を上回る水準となっている。また企業収益は、経済活動の正常化や価格転嫁の進展もあって増加しており、そのもとで設備投資ははっきりと増加している。家計部門に目を転じると、個人消費は、感染症下で抑制されていた需要（ペントアップ需要）の顕在化を受けて、物価上昇下にあっても増加基調を保っている。

本年も、景気回復が続くとみている。企業収益の改善が設備投資の増加につながるという前向きの循環が続くと見込まれるうえ、家計のペントアップ需要は鈍化していくとしても、物価高を反映する形で賃金が上昇を続け、個人消費を支えると考えられるためである。

#### 県内経済情勢と展望

次に、岩手県経済をみると、昨年5月の感染症の5類移行と前後して人々の外出意欲が回復し、宿泊・飲食サービスを中心に個人消費が改善した。また、中長期的な事業展望や省力化ニーズに基づく設備投資の増加と自動車関連業種での生産水準の引き上げもあって、県内経済は持ち直し、「短観」の業況判断D.Iは全国と遜色ない水準にまで回復した。本年も、企業収益が投資につながり、家計の所得が消費につながるという前向きの循環は維持され、県内経済は持ち直すとの比較的明るいシナリオをメインに据えている。

もっとも、警戒を要する下振れリスクは存在しており、第一は、海外経済の変調である。米国では、これまでの金利上昇の影響が実体経済面・金融面の双方で強く出てくる可能性があるし、中国経済についても、不動産市場の調整などの構造問題を抱える中で、思わぬ変調をきたさないか懸りである。第二のリスクは、個人消費の下振れである。これまでみられたペントアップ需要は早晚一巡するものと考えられるだけに、消費者物価の上昇に賃金の上昇が追いつかず、個人消費の持ち直し基調が損なわれはしないか、注意が必要である。

このように、岩手県経済を巡る不確実性は小さくないが、経営者の皆さまが各々のビジネスチャンスに的確に対応し、結果、「県内経済は持ち直し続ける」とのメインシナリオが現実となることを期待している。

## ご協力いただいた業界団体、企業

(敬称略、日本標準産業分類の項目順)

|                |                   |                 |
|----------------|-------------------|-----------------|
| 岩手県農業協同組合中央会   | 日本製鉄株式会社北日本製鉄所    | 岩手県倉庫事業協同組合     |
| 岩手県森林組合連合会     | 岩手県南部鉄器協同組合連合会    | 協同組合盛岡卸センター     |
| 岩手県漁業協同組合連合会   | 岩手県機械金属工業協同組合連合会  | 岩手繊維株式会社        |
| 一般社団法人岩手県建設業協会 | 株式会社ミズサワセミコンダクタ   | 株式会社川徳          |
| 株式会社シリウス       | トヨタ自動車東日本株式会社岩手工場 | 盛岡ターミナルビル株式会社   |
| 岩手県チキン協同組合     | 岩手県情報サービス産業協会     | 株式会社ベルジョイス      |
| 岩手県生めん協同組合     | 岩手県広告業協会          | 岩手県自動車販売店協会     |
| 岩手県酒造組合        | 公益財団法人岩手県観光協会     | 株式会社薬王堂ホールディングス |
| 岩手県印刷工業組合      | 一般社団法人岩手県タクシー協会   | 岩手県商店街振興組合連合会   |
| 岩手県生コンクリート工業組合 | 公益社団法人岩手県トラック協会   |                 |

業況天気図は、  
次の5つからお選びいただきました。



岩手県農業協同組合中央会  
代表理事会長 伊藤 清孝 氏

### 1. 昨年の貴業界（貴社）の状況はどうだったか？



本県産農畜産物は、春の凍霜害、夏の猛暑により、生乳生産量の減少、果物の変色・落下など様々な品目に影響を受けた。米の品質にも影響が出ることが懸念されたが、1等米比率91.1%（全国2位）と高い水準を維持することができた。そうした中、米の相対取引価格は昨年より上がったが、生産コスト上昇分には届いておらず、依然として厳しい状況が続いた。

### 2. 2024年の貴業界の見通しをどう見るか？



国際情勢の悪化を契機とした原材料・生産資材価格の高騰、昨今の気候変動等による世界的な食料生産の不安定化など、我が国の食料安全保障の強化が重要となってい

る。政府では、これまでの農業政策の検証等も含めて「食料・農業・農村基本法」の見直しに向けた議論を進めており、改正法案が今次通常国会に提出される予定である。J Aグループでは生産現場の意見を政策に反映させるための取り組みを続けていきたい。

### 3. 貴業界の重要課題は何か？

本県の基幹的農業従事者（普段主に自営農業に従事している者）はこの20年で約半分になっており、生産基盤の弱体化が進むとともに、生産資材価格の高騰が農業経営に大きな影響を及ぼしている。生産資材や流通コストの適正な価格転嫁は食料の安定供給に必要な事であり、国民・県民の皆様の理解醸成に向けて取り組んでまいりたい。

### 4. 2024年の県内経済・社会等の関心ごとは何か？

物流2024年問題によって、トラック運転手が不足し、輸送力の低下が懸念される。積載物の集約・効率化、鉄道や船など他の交通手段への切り替えなど、卸売市場や輸送業者、J Aだけではなく行政も含め関係者が一体となって取り組むことが重要であると考えます。





岩手県森林組合連合会  
代表理事会長 中崎 和久 氏

### 1. 昨年の貴業界（貴社）の状況はどうだったか？



全国的に公共建築物や商業施設等への木材利用の推進が図られ、国産木材の活用は拡大傾向にある。しかしながら、ウクライナ情勢や円安の影響であらゆる物価が高騰する中、住宅建築資材の大幅な値上がり等で住宅着工が落ち込み、木材の国内需要は停滞したまま推移し、森林・林業・木材産業にとっては厳しい一年であった。

### 2. 2024年の貴業界の見通しをどう見るか？



製品・原木共に在庫過多の状況にあった県内各工場は在庫調整が一段落し、昨年末から原木需要は回復傾向にあるが、住宅着工が上向くのか先行きは見通せない状況に

ある。一方、地球温暖化対策に資する適切な森林整備の財源となる森林環境税が本年4月から徴税が始まり、再造林の促進等森林整備事業の拡大が図られていくと見る。

### 3. 貴業界の重要課題は何か？

カーボンニュートラルを見据えた「木を切って使い、植えて育てる」という持続的な循環型林業を確立して行くためには、山元立木価格の適正化により森林所有者の所得の向上を図るとともに、人口減少が進む農山村社会において、慢性的な人手不足にある森林組合等林業事業体にとって、担い手の安定的確保・育成が最重要課題である。

### 4. 2024年の県内経済・社会等の関心ごととは何か？

昨年、陸前高田市で第73回全国植樹祭が開催され、公益的機能を持つ森林の大切さや、震災からの復興を全国に発信することができた。地球環境保全等、森林整備の適切な維持・管理の重要性に対する県民の意識が高まってきており、豊かな森林を次世代に引き継いでいく緑化運動が更に広まって行くことを期待する。



岩手県漁業協同組合連合会  
代表理事会長 大井 誠治 氏

### 1. 昨年の貴業界（貴社）の状況はどうだったか？



自然環境の激変による基幹魚種の不漁、原料価格の高騰や電気料金の値上げ等により経営環境は依然として厳しいが、新型コロナウイルス感染症による行動規制がなくなり、社会経済活動の正常化が進んでいることから一部では明るい兆しが見えており、ふるさと納税の返礼品として需要が高いウニ類は終始高値で推移した。

### 2. 2024年の貴業界の見通しをどう見るか？



新型コロナウイルス感染症による行動規制が解除され、社会経済活動の正常化は進んでいるが、ALPS処理水の海洋放出による輸入停止措置等の影響が見通せず、

国内の水産業を取り巻く状況が不安定なものとなっていることから、JFグループでは一層、「中核漁協」の構築に向けた組織強化に取り組んでいかなければならない。

### 3. 貴業界の重要課題は何か？

漁業者を支え社会からの要請に応えるために、JFグループ岩手として組織と経営基盤の強化と生産量の維持・増大に向けた取組みの強化を一層進めること。漁業所得の向上と新規就業者の確保・育成、安全安心な水産物の確保等の諸課題解決に取り組んでいくこと。本県水産物の適切な情報発信と消費宣伝活動に取り組んでいくこと。

### 4. 2024年の県内経済・社会等の関心ごととは何か？

秋サケ資源の一刻も早い回復のため、継続的なふ化放流事業をどのように展開していくか。定置漁業で漁獲されるクロマグロの漁獲可能量について、国際的な枠組みがどのように増枠されるか。特に、ALPS処理水の海洋放出方針に伴う水産物の輸入規制を行っている国等に対して早期の規制解除がどのように働きかけられるのか。



一般社団法人岩手県建設業協会  
会長 向井田 岳 氏

### 1. 昨年の貴業界（貴社）の状況はどうだったか？



岩手県内の公共事業関係費は、国・県・市町村においては震災前の厳しい状況に近付きつつあるため、業界全体として厳しい状況にあったと認識している。

また、建設業界は、ウクライナ情勢の悪化や円安の進行により、石油など原料価格が高騰し、これにより資材価格が高止まりとなったために、厳しい対応を強いられるとともに、人手不足も加わり施工確保対策に苦慮した年であった。

### 2. 2024年の貴業界の見通しをどう見るか？



国土交通省の公共事業の概算要求は前年比19.0%とし、防災・減災対策など引き続き力を入れることとしているが、計画的かつ持続安定的な事業量の確保には、未だ厳しい状況にあると認識している。

県における予算編成では、公共事業の通常分は

「23年度×1.05以内」とする方針としているが、補正予算分も含め公共事業費は減少傾向にあるため、地域建設業にとってはかなり厳しい状況が続くものと思われる。

### 3. 貴業界の重要課題は何か？

地域建設業は公共事業への依存度が高いことから、中長期的な公共事業予算の安定的・持続的な確保がなければ、社会資本整備や災害・除雪・家畜伝染病への対応など「地域の守り手」としての役割を担うことが困難となる。

働き方改革の推進としては、2024年度問題として建設業においても時間外労働規制が適用されるため、関係機関と一体となって環境整備に努め、限りある人材の有効活用を図りながら、担い手の確保を図る必要がある。

### 4. 2024年の県内経済・社会等の関心ごとは何か？

県内経済は、ウクライナ侵攻や円安の影響等によるエネルギー・物価高騰により、深刻かつ大きな影響を受けており、今後も先行き不透明な状況が続くものと思われる。

このような状況を打破するためにも、国際リニアコライダー（ICL）の誘致実現こそが、新産業の創出や関連産業の活性化になり、地域経済への波及効果を期待したい。



株式会社シリウス  
代表取締役 佐藤 幸夫 氏

### 1. 昨年の貴業界（貴社）の状況はどうだったか？



建材の値上がりが激しく不況感が漂いはじめ県内着工棟数が伸びずに前年に比べ約10%減となった。建材の値上がりだけでなく盛岡市内の土地不足や土地の値段が上昇していることから、現状は明るい材料がないものの弊社はこの逆境のなかでもシェアを伸ばしていることから、経営努力でなんとかできると思う。

### 2. 2024年の貴業界の見通しをどう見るか？



各種補助金制度が施行されるものの、建材のより一層の値上がりや人口減にて新築はやや厳しい状況になると予想

されるが、リフォームはこれから伸びるのではないかとと思われる。

### 3. 貴業界の重要課題は何か？

職人の高齢化、若手の現場離れ等により、職人不足の状況にある。特に大工・左官・外構関係の職人が不足しており、これらの職人を自社社員として教育し定着率アップを図らないといずれは住宅を建築することは出来ないと危機感を持っている。業界の待遇・イメージアップを更に図り、若い人材が積極的に門を叩いてくれる業界にしたいと思う。

### 4. 2024年の県内経済・社会等の関心ごとは何か？

コロナ禍に始まった金融機関からのコロナゼロゼロ融資の返済が始まっており、それが返せず倒産している会社が同業他社だけでなく他業種の会社も多いと聞く。2024年度は全業界の再編成がある年ではないかと思う。





岩手県チキン協同組合  
理事長 十文字 保雄 氏

### 1. 昨年の貴業界（貴社）の状況はどうだったか？



晴

飼料価格が過去最高水準でしたが、国レベルでの飼料価格安定基金からの補填や、岩手県の配合飼料価格安定緊急対策の補助があり緩和になったことと、昨年冬の鶏肉市場価格の高騰から価格下落したとはいえ十分な水準を維持できていることから良好な経営環境でした。

### 2. 2024年の貴業界の見通しをどう見るか？



曇

飼料原料の国際相場がやや落ち着いてきており飼料価格が下落傾向にありますが、それゆえ飼料価格安定基金のルール上補填金は期待できません。また、売上げの半分を占めるも肉の市況に陰りが見え、

より低価格となるむね肉へのシフトが進んでいます。

### 3. 貴業界の重要課題は何か？

物流業界に迫る2024年問題への対応が大きな課題です。特に岩手県北から首都圏へ運ぶ際の運搬手の勤務時間はこれまでのようにはいかなくなりますので、大きなコストアップになりそうです。

また、外国人技能実習生制度の見直し案が報道されています。現実に沿って労働力としての法整備になることはいいのですが、あまりに働く側の選択の自由化が進むと毎日安定した商品供給がなくなる恐れがあります。

### 4. 2024年の県内経済・社会等の関心ごととは何か？

ニューヨークタイムズ紙「2023年に行くべき52か所」に選ばれたことを契機にインバウンド需要に沸き、北東北の中核都市として盛岡市は順調に発展しているように感じます。また北上市も企業誘致が成功して好調です。その反面、北上川流域以外の人口減少と少子化が著しく、ますます当チキン業界が元気で居なくてはと感じています。



岩手県生めん協同組合  
理事長 兼平 賀章 氏

### 1. 昨年の貴業界（貴社）の状況はどうだったか？



曇一部雨

コロナ感染症が5類に移行し、人々の移動が活発になり業務用の麺は、外食産業を中心に一部を除きコロナ禍前に戻りつつあります。観光地の外食関係もインバウンドの影響でコロナ禍前を上回る状態まで回復してまいりました。しかしコロナ禍で他業種に移行した従業員が、戻らず人手不足で思うように営業出来ない店舗も多い状態です。良品店への納品は、動燃費の高騰、円安による原材料費の値上げ分を価格転嫁しきれない状況が続いております。

### 2. 2024年の貴業界の見通しをどう見るか？



曇一部雨

ロシアによるウクライナ進行の影響で穀物相場は、高騰し殆どの原材料を輸入に頼る我が国の食品産業は、円安による原材料高で非常に苦しんでおります。

量販店と価格交渉する段階で更に原材料が値上がりし値上げ分を価格に転嫁出来ない状況です。円安が更に進む可能性がありますので価格転嫁をしなければ体力が悪化してまいります。

### 3. 貴業界の重要課題は何か？

コロナ禍で落ち込んだ業務用の麺は、外食産業の回復で持ち直してまいりましたが、人手不足で営業時間を短縮するお店も多く一部のお客様は、コロナ禍前に戻れない状況です。

このまま円安が続くと原材料の高騰が更に進みます。人手不足と賃金上昇が経営を圧迫し価格転嫁出来ない企業は、廃業に追い込まれると思います。

### 4. 2024年の県内経済・社会等の関心ごととは何か？

岩手県南から宮城県北の自動車・半導体産業の集積による企業誘致が進み地元の中小零細企業は、少子化で若者の新規採用がより難しくなり、賃金の上昇も大きく負担増になると思います。また円安の進行により外国人労働者も母国への仕送りが目減りし日本で働いてもメリットが無くなって来ております。（母国へ送金しても3年前の3割減のお金に目減りする。）円安が更に進むと外国人労働者が日本で働かなくなり人手不足が更に深刻になります。



岩手県酒造組合  
会長 松岡 俊太郎 氏

### 1. 昨年の貴業界（貴社）の状況はどうだったか？



晴一部曇

昨年は新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、人の流れも平常に戻ってまいりました。

当組合に於きましては、今まで開催しておりました首都圏でのイベントを見合わせ、地元でのイベントを中心に多い多くの方に岩手に来ていただくことをコンセプトに行いました。

特に、9月16日に盛岡駅「滝の広場」で開催いたしました「いわて蔵元フェスタ2023 in 盛岡」には、盛岡市が、ニューヨーク・タイムズ紙に2023年に行くべき52カ所の2番目にランクされたことも後押しとなり、県内外から多くの日本酒ファンにご来場いただきました。

また、当組合は昨年創立70周年を迎え、この記念すべき年に地理的表示（GI）岩手（清酒）が国税庁長官から指定されましたことは、業界がこれ

から進むべき今後の道標になりました。

### 2. 2024年の貴業界の見通しをどう見るか？



晴一部曇

昨年に引き続き、GI岩手清酒を中心に県内外での周知活動を行いつつ、地元でのイベント開催や各蔵が独自の商品開発を行い、輸出拡大を視野に入れさらなる販路拡大に繋げれば良いと思っております。

### 3. 貴業界の重要課題は何か？

適正飲酒とアルコール健康問題の取組を強化しつつ、國酒としての日本酒の文化性・機能性・多様性の情報発信を行ないながら、消費拡大を行いたいと考えております。

なお、日本酒業界としましては、日本の伝統的なこうじ菌を使った酒造り技術「伝統的酒造り」のユネスコ無形文化遺産への登録を目指しているところであります。

### 4. 2024年の県内経済・社会等の関心ごととは何か？

コロナ禍以前の経済状況に戻すための行政政策に期待したい。

社会情勢が目まぐるしい中、燃料費の大幅な値上げや製造業等における原材料の高騰に、国としてどのように対処するか。

また、各地で頻繁に起きている自然災害の対策、復旧への迅速な対応を望みます。



岩手県印刷工業組合  
理事長 菊池 忠彦 氏

### 1. 昨年の貴業界（貴社）の状況はどうだったか？



曇一部雨

コロナウイルス5類移行によるイベントの通常開催の増加や、インバウンド需要の回復、知事選・県議選などの選挙により、印刷需要も回復基調にあると思われたが、夏以降、業界全体に受注量に活気のない状況が続いている。また、用紙をはじめとする原材料費、エネルギー価格の上昇分の製品価格への転嫁は、お取引先様にご理解はいただいているものの、転嫁率は100%にはほど遠く、厳しい経営状況が続いている。

### 2. 2024年の貴業界の見通しをどう見るか？



曇

「2024年の売上がコロナ前の2019年と比較してどの程度になるか」、組合員企業を対象にアンケートを実施した結果、2019

年の「50～74%程度」が8%、「75～90%」が80%、「同程度・それ以上」が12%であった。紙への印刷売上はコロナ以前に簡単には戻らないと予想されるが、紙にとことんこだわった印刷、紙以外の事業への取り組みなど、各社がさまざまな分野に挑戦することで、「同程度・それ以上」の%が上がると思われる。

### 3. 貴業界の重要課題は何か？

さまざまな分野でDXが推し進められている現在、業界を取り巻く環境も日々変化している。それに対応すべく、我々印刷業界も業態変革に取り組まなければならない。目指すところは、日本の印刷産業全体で掲げている「コミュニケーションサービス産業・課題解決型産業」への変化である。また、環境に配慮した製造、人材の確保・育成も重要な課題である。

### 4. 2024年の県内経済・社会等の関心ごととは何か？

人口減少問題に対し、県・市町村が他県に負けない方策を打つこと。岩手の経済の起爆剤となりうるILCの誘致。花巻、遠野、釜石の観光を繋ぐJR釜石線の存続と利用促進。





岩手県生コンクリート工業組合  
理事長 金子 秀一 氏

### 1. 昨年の貴業界（貴社）の状況はどうだったか？



震災復興事業の終息や公共事業の伸び悩み、民間投資の停滞などにより、県全体の生コンの出荷は前年を大きく下回った。

地域別にみても、一昨年民需が好調だった県南地域が反動減となったのを始め、全ての地域において出荷量が減少した。

また、コストアップや収益性の低下、従業員の高齢化などの課題も顕著になってきている。

### 2. 2024年の貴業界の見通しをどう見るか？



今後も、全体として生コン需要はさらに減少していくと見込まれる。

また、地域によっては、生コン需要の大幅な減少に伴い、工場の存続すら厳し

くなってくることも想定される。

さらに、諸原料や輸送費等のコストアップ、人材不足や高齢化など、業界を取り巻く環境は一層厳しさを増していくものと考えている。

### 3. 貴業界の重要課題は何か？

様々な面で厳しい環境の中、次の四点を業界の基本的な課題として捉えている。

- (1) 発注者や建設業者等との連携、地域間連携などによる安定供給の推進と体制の再構築
- (2) 道路の耐久性などで優位性のあるコンクリート舗装の推進等による需要の拡大
- (3) セメントや骨材等の大幅な値上がり、輸送費の上昇などに対応した適切な価格転嫁と商慣習の見直しに向けた取組み
- (4) 品質管理監査や技術センター機能の充実強化などによる品質の安定確保

### 4. 2024年の県内経済・社会等の関心ごととは何か？

物価高騰や海外景気の下振れ懸念などにより国内経済の動向が不透明ではあるが、国土強靱化などによる公共事業の拡大、民間投資等の活発化などにより地域経済が活性化することを期待している。



日本製鉄株式会社北日本製鉄所  
副所長（釜石地区代表）  
倉地 三喜男 氏

### 1. 昨年の貴業界（貴社）の状況はどうだったか？



鉄鋼需要に関して、前半は自動車分野を中心とした半導体不足等のサプライチェーン混乱の影響を受けて低迷し、足下は回復の兆しがあるも依然として途上。建築・土木分野は人手不足や資材費高騰により活動が停滞し、非常に厳しい状況だった。

### 2. 2024年の貴業界の見通しをどう見るか？



世界の鉄鋼需要については、中国の内需低迷下での高生産継続に因る市況悪化（製品価格低迷に関わらず原料価格高騰）や欧米のインフレ長期化、ウクライナ・中東の地政学リスク等により、先行き不透明な状況が継続すると想定。国内需要は緩やかに回復すると期待

するが、人手不足や物流・建設コスト高騰により本格回復には時間を要するものと推定。

### 3. 貴業界の重要課題は何か？

#### ①2050年カーボンニュートラルの実現

鉄鋼業界のCO<sub>2</sub>排出量は国内全体の約13%を占めており、脱炭素化は世界の重要課題。革新的鉄鋼製造プロセス開発や高機能商品・ソリューション技術の開発によるCO<sub>2</sub>削減が必須。

#### ②人材確保・人材活躍推進

少子高齢化により鉄鋼業界では人材確保が厳しい状況。採用強化や福利厚生充実化による女性活躍支援、人材育成強化等による人材確保が急務。

### 4. 2024年の県内経済・社会等の関心ごととは何か？

岩手県ものづくり競争力向上に資する、物流等インフラ基盤強化並びに企業誘致・企業間連携強化。例えば、自動車関連産業を基軸とした、内陸～沿岸～港湾の機能強化によるサプライチェーン最適化や素材～部品～製品一貫製造体制の構築、ものづくり人材育成活性化等の実現。





岩手県南部鉄器協同組合連合会  
会長 佐々木 和夫 氏

### 1. 昨年の貴業界（貴社）の状況はどうだったか？



インバウンド解禁とニューヨークタイムス効果を期待したが、訪日中国人の減少の影響で思ったほど業績は回復していない。台湾等の観光客は増加し賑わいを見せているが購買力が乏しく感じた。

### 2. 2024年の貴業界の見通しをどう見るか？



国内需要を高めるため、小家族向けの高品質開発に力を入れ生活環境に合わせた物づくりに各社が取り組んでいる。海外に人気

の高い伝統工芸品と合わせて今後の新商品に期待したい。

### 3. 貴業界の重要課題は何か？

後継者不足。特に鍛造部門の職人育成が急務である。焼型（手づくり）鉄瓶には欠かせない部分であり出荷数に影響が出ているため、重要課題である。また、産業機械製品・生型製造では、若手が大企業、他産業に流れ、人材確保に苦慮している。

### 4. 2024年の県内経済・社会等の関心ごととは何か？

ロシア、ウクライナの戦争の影響で原材料が高騰したまま推移している。その為、利益確保が難しく国内最低賃金を脱却するには企業努力だけでは非常に困難な状況である。地方型小規模支援事業や景気対策が期待される。



岩手県機械金属工業協同組合連合会  
会長 小山田 周右 氏

### 1. 昨年の貴業界（貴社）の状況はどうだったか？



円安等を背景にエネルギー・原材料価格が高騰し収益が圧迫されるなど厳しい一年となった。四半期毎に実施している本会独自調査結果からも、「収益性」は悪化、「設備投資」は減少とする企業が常態化するなど厳しい経営環境の中で推移した。また、雇用環境面においては、一昨年と同様に人材確保における「技術者不足」に苦しむ企業が散見された。

### 2. 2024年の貴業界の見通しをどう見るか？



昨年と同様に「良くなる」と予想する経営者は少ない。特に昨年は「収益性」の改善には慎重な意見・見方が多かったが、

予想通り改善されなかった経験が業界見通しに影響を落としている。経営課題が多すぎて対応に苦慮する事業者も多々あり、課題を一つ一つ整理し対応する必要がある。共通する課題については組合主催の各種研修会・先進地視察等で対応したい。

### 3. 貴業界の重要課題は何か？

経営課題は山積している。とりわけ価格転嫁及び従業員の賃上げが重要課題である。傘下企業の多くは下請け企業であり企業間格差はあるが価格転嫁は思うようには進んでいない。転嫁を上手く進め、利益を生み出し、賃金を上げ、良い人材を確保する。企業経営の好循環構築に向け「生産性の向上」が強く求められている。

### 4. 2024年の県内経済・社会等の関心ごととは何か？

課題にも挙げた「価格転嫁」、「賃上げ」及び「人材の確保」が最大の関心事。また、大谷翔平選手の復活はあるのか!? 厳しい競争社会にあって夢と希望を常に実現化している彼の姿には心を打たれる。先が見通せず決して明るいとは言えない世相にあって、彼の笑顔と活躍は一服の清涼剤となっている。



株式会社ミズサワセミコンダクタ  
代表取締役社長 柳田 雅紀氏

### 1. 昨年の貴業界（貴社）の状況はどうだったか？



ここまでの半導体市場の冷え込みを経験したのは、過去で一番だったと感じる。コロナ禍における巣ごもり需要による反動での市況悪化と各種媒体も報じているが、その反面で半導体海外企業勢の誘致や北海道での投資を国が援助するなどの報道に期待感を持てる状態での足下が過去最低となり体力面・精神面ともに苦しい環境であった。

### 2. 2024年の貴業界の見通しをどう見るか？



世界情勢の変化で、製造業国内回帰路線は2023年に引き続くとしている。本格的な生産となるのは2024年後半～2025年

以降になると思われる。前半はその準備期間として各企業が事業計画立案と推進を進めると感じる。そのためある程度は、コロナ禍以前の状況に近くなると予想するが、回復～成長は準備期間を経たからの加速と考える。

### 3. 貴業界の重要課題は何か？

過去にはシリコンサイクルの流れとともにゲームチェンジャーになるコンテンツやアプリが市場に登場（スマートフォンやネット環境の成長）するたびに半導体はその派生製品を軸として好不況を繰り返していたが、コロナ禍以降EV車を除けばここまでのゲームチェンジャーとなる印象のものが無い事が課題と捉える。

### 4. 2024年の県内経済・社会等の関心ごととは何か？

岩手県に留まらず、様々な海外企業が国内に進出してきているが、労働人口の都市部集中型を地方分散型へ移行する機会と捉えているので、他県とは違う岩手県ならではの取り組みに期待している。



トヨタ自動車東日本株式会社岩手工場  
工場長 藤井 雅則氏

### 1. 昨年の貴業界（貴社）の状況はどうだったか？



昨年は2022年に長期化した半導体不足、新型コロナの影響による東南アジアからの部品供給の混乱で生産できなかった受注残の挽回を最優先に実施して参りました。

しかし影響は完全な解消まで至らず、納期の面で引続きお客様にご迷惑をお掛けしてしまった厳しい1年となりました。

### 2. 2024年の貴業界の見通しをどう見るか？



新型コロナの影響も緩和し以前の水準を超えてのプラス成長に期待します。

一方で2024年問題であるトラックドライバー不足からの輸送能力低下、昨年から継続している天然ガスや原油等のエネルギー価格の高騰

等で世界中がインフレ基調となっていて、見通しは楽観出来ないと考えられます。

### 3. 貴業界の重要課題は何か？

2024年は世界の主要メーカーが全タイプのEV車種導入を計画しておりBHV市場の競争が激化すると思われます。国内のトレンドはHEVを軸にEVシェアを拡大方向で推移する一方で、内燃機関エンジンは転換期を迎え全体での再編も考えられます。

同時にCNに貢献する設備導入、再生可能エネルギーの活用拡大、DXによる仕事の進め方の変革など世の中の動きに後れを取らないようにして参ります。

### 4. 2024年の県内経済・社会等の関心ごととは何か？

県内の総人口は1960年をピークに14%減少を続けています。同時に生産労働人口も1985年の96万人から減少を続けており、その傾向は変わらず生産活動に於ける人員確保が非常に厳しい状況が続いています。今後も県の人口減少対策である「岩手県人口ビジョン」と「岩手県ふるさと振興総合戦略」の両輪の効果に期待します。





岩手県情報サービス産業協会  
会長 法貴 敬氏

### 1. 昨年の貴業界（貴社）の状況はどうだったか？



賃上げ圧力や円安による輸入物価の上昇が製品のコストや価格上昇につながり、価格転嫁が十分行われないことにより企業業績への悪影響が広がる可能性がある。一方、国内IT市場は、国の田園都市構想やDX推進によるシステムのクラウド化やサブスクリプションモデルの浸透等によりIT投資が活発化し、マクロ経済の変動に対して影響を受けづらいビジネス構造に変化してきている。

### 2. 2024年の貴業界の見通しをどう見るか？



世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念等、海外景気の下振れリスク、また、物価の上昇、中東地域

を巡る情勢等により、今後の状況によっては予測を大きく見直す可能性があるが、引き続き国を挙げてのDX推進により、IT市場が低成長であるものの成長が続くと予測される。

### 3. 貴業界の重要課題は何か？

国のDX推進によりIT市場が活性化する反面IT人材確保の困難性や市場競争が激化するものと見込まれ、地方の情報サービス産業はこれまで以上にその特色を出していくことが求められる。将来的にも大幅に不足予測される新技術に対応し得る人材の育成確保が喫緊の課題。

### 4. 2024年の県内経済・社会等の関心ごととは何か？

新型コロナ禍で疲弊した経済からの完全なる回復とともに、DX化を基盤としたSociety5.0社会の進展により「good Life」の実現に向けて着実に進むこと。また、データ基盤の利活用による環境にやさしい都市OSが広がりを見せるとともに、観光の振興や、ILCの立地を見据えた、多文化共生が可能となるスマートシティの基盤の確立に向けて取り組みが着実に進められること。



岩手県広告業協会  
理事長 羽川 久美氏

### 1. 昨年の貴業界（貴社）の状況はどうだったか？



コロナ感染5類移行に伴って人流増加による社会経済活動が回復基調となり、業界的にはイベント等が官民ともほぼコロナ禍前のスケール・スペックで実施されるようになった。また、ニューヨークタイムスの記事効果もあり、観光関連での需要が活発化し街は賑やかな様相になっているが、当業界への波及効果は限定的で期待薄の一年になった。

### 2. 2024年の貴業界の見通しをどう見るか？



本格的な業績の回復を期待するポストコロナのタイミングだが不安定要素が多くありまた事業環境も激変しており、取

引先が投資に紐づいた広告出稿を喚起するか見通せない状況にある。コロナで変化した消費行動が企業のマーケティング・プロモーションの展開に新たな変化をもたらすと思われる。マスメディアの復調とDXへの取組みがカギとなる。

### 3. 貴業界の重要課題は何か？

時流がDXへ加速する状況下デジタルプロモーションの業務品質の向上が喫緊の課題。また、人材採用、育成、雇用の維持など「まさに人ありき」の広告業界において、協会をあげて若年層に広告のもたらす社会的・経済的意義など、より以上の興味関心を抱いてもらうための活動を推進しなければならないと考えている。

### 4. 2024年の県内経済・社会等の関心ごととは何か？

コロナ後における企業のコミュニケーション戦略の「次の一手」の施策・情報発信を積極的にサポートし、且つ、広告業界として県内経済の活性化につながる取り組みと地域貢献のための新しい価値を創造すること。



公益財団法人岩手県観光協会  
理事長 谷村 邦久 氏

### 1. 昨年の貴業界（貴社）の状況はどうだったか？



晴一部曇

ニューヨーク・タイムズ紙の「2023年に行くべき52か所」への盛岡市の掲載や本県出身プロ野球選手の活躍などにより岩手への注目・関心が高まった。また、民間、行政ともに外国人観光客のプロモーションを積極的に行い、花巻—台北線の再開や円安もあって、外国人観光客は勢いよく回復している。

### 2. 2024年の貴業界の見通しをどう見るか？



晴

岩手県では、1月から3月までの3か月間、冬季キャンペーン「しあわせな予感♡いわて冬旅キャンペーン」を展開し、県内観光の周遊化、滞在化を促進する。また、中尊寺金色堂建立900年の特別行事なども予定さ

れている。外国人観光客には、ニューヨーク・タイムズ紙をきっかけに盛岡市へ来訪した方々に岩手ファンが拡大し、リピーターが増えることを期待している。

### 3. 貴業界の重要課題は何か？

観光客が順調に回復する一方、コロナ禍で離れた従業員が戻らないなど、観光従事者の確保・育成が深刻となっている。業界全体で働き方改善や観光業の魅力発信などに取り組み、受入態勢を持続していく必要がある。また、観光DXの推進による観光サービスの変革も求められている。

### 4. 2024年の県内経済・社会等の関心ごととは何か？

観光業は宿泊・飲食・交通のほか地域の各種産業から交流人口の拡大まで幅広く関連するすそ野の広い分野であり、観光振興の効果を県内経済に波及させていく。また、ビヨンドコロナを確実なものとするため、行政には原油価格・物価高騰への支援を期待する。

国際リニアコライダーの誘致実現にあたっては、岩手県ILC推進協議会会長の立場として、引き続き全力を尽くしたい。



一般社団法人岩手県タクシー協会  
会長 川崎 利治 氏

### 1. 昨年の貴業界（貴社）の状況はどうだったか？



雨

コロナの移動制限解除により、ある程度需要は回復しているが、県内でも地域差がある中で、全体のタクシー需要は、コロナ禍以前より減少が続いている状況にあります。運賃改定と需要の回復により収入はいくらか改善したが、物価高騰、特に燃料価格の高騰や最低賃金の大幅な増加により、経営状況は改善していません。

### 2. 2024年の貴業界の見通しをどう見るか？



雨

乗務員不足による稼働率の低下に労働時間の基準の見直しが拍車をかけて、そのうえ続く最低賃金の大幅な上昇、及び

燃料費の高騰により、企業の存続が更に厳しくなると予想されます。地域に根差したタクシー事業として、何とか経営を維持していきたいと考えています。

### 3. 貴業界の重要課題は何か？

一部の大都市圏や有名観光地におけるタクシー車両の不足を契機とした「ライドシェア解禁」の議論の先行きが不透明です。「ライドシェア解禁」を阻止して、これまでタクシー業界が培ってきた安全・安心な移動手段を確保していきたいと思えます。

### 4. 2024年の県内経済・社会等の関心ごととは何か？

「ライドシェア解禁」の議論により、地方では地域を守る公共交通機関として、タクシー事業の重要性が見直されると考えています。

コロナ禍後の飲食や観光需要の増加に期する経済政策とともに、地域公共交通機関の維持確保の政策の推進を期待しています。





公益社団法人岩手県トラック協会  
会長 高橋 嘉信 氏

### 1. 昨年の貴業界（貴社）の状況はどうだったか？



県内の輸送需要は地域により大きなばらつきがあり、燃料価格や人件費等、上昇コストの転嫁も一部を除いて進まず総じて厳しい環境が続いた。一方、2024年問題が注目され、期せずして業界の課題が広く世間に知られることとなり、運賃値上げや荷待ち時間の縮減など、荷主交渉に際し追い風となったことは幸運だった。

### 2. 2024年の貴業界の見通しをどう見るか？



高止まりする燃料価格の転嫁も進まないうち、4月から運転者の時間外労働罰則付き上限規制がスタートし労働時間管理が厳格化される。これまで5年の猶予期間で輸

送の効率化を進めると共に、労働環境改善に向けた荷主交渉を続けてきたが、一部を除いて大きな成果は得られておらず、ドライバー不足の影響もあり更に事業運営は厳しさを増すと思われる。

### 3. 貴業界の重要課題は何か？

ドライバーの確保が最重要課題であり、その解決に向けてはドライバーの給与、労働時間をはじめとする待遇改善が必要不可欠となっている。これまでも働き方改革の流れの中、国の後押しを受けながら各種取り組みを進めているが、コストに見合わない仕事を断る勇気も必要であり、業界全体で気持ちを一つにして取り組んでまいりたい。

### 4. 2024年の県内経済・社会等の関心ごととは何か？

国土交通省では、令和5年7月21日「トラックGメン」を創設した。ドライバーの待遇改善をはじめ、トラック輸送の健全な運営を阻害する不適正な取引について監視を強化することを目的としていることから、まずは、これがしっかりと機能し、業界が抱える課題解決に向けた潮流を生み出していただけることを強く期待する。



岩手県倉庫事業協同組合  
理事長 佐藤 重昭 氏

### 1. 昨年の貴業界（貴社）の状況はどうだったか？



昨年の当業界の上半期の全国倉庫協会13地区所管面積・入庫高・平均保管残高は前年比平均102%、東北地区が105%、岩手地区が101%。一見上昇傾向かと思われるが上場企業21社統計では95%。当組合も10月段階で売上は95%だった。昨春からのコロナ禍明けで物流が本格的に動きだし、積み上がった在庫が一気に動き出したと思われ、この傾向は今年も続くと思われる。

### 2. 2024年の貴業界の見通しをどう見るか？



岩手エリアでは盛岡エリア初の東北最大・3万坪の庫腹を擁する大型物流施設・プロロジスパーク盛岡が矢巾町に昨年11月末に開業。当業界にも少なからず影響が出てくると思われる。今年4月のドライバー時間外労働・年960時間とする「時間外労働の上限規制の適用」に対応し、各企業が配送中継拠点の構築・幹線輸送の組換えを行っており

その一環である。当業界では近年の建築単価の高騰もあり中小規模の倉庫建設は控える傾向にある。仙台港からの輸入貨物取扱量が震災以来最高額を記録した宮城エリアが今年だけで合計9万坪の物流施設建設計画がある。岩手エリアは花北エリア以外、今年は大規模物流施設計画は少ないと思われる。

当面は既存倉庫が中継倉庫の役割を担うと思われるが、盛岡エリアは盛岡南インター流通業務地区区画整理計画の今後の事もあり「物流2024問題」の一年を注視したいと思う。

### 3. 貴業界の重要課題は何か？

人手不足解決の物流DX推進が喫緊課題。トラックドライバーの有効求人倍率が2倍、ピーク時の21万人減少、高齢化。2030年に輸送力は34%不足。解決にはトラックの隊列走行・自動トラック・モーダルシフト・ドローン輸送等々の推進。当業界では倉庫内作業の自動化のための機械化・パレット・外装・データの標準化と解決方法は山ほどあるが、資金力・DXの人材不足等々、中小倉庫企業には達成には高いハードルがある。国の補助金政策に期待したい。

### 4. 2024年の県内経済・社会等の関心ごととは何か？

岩手県の人口減問題と国政選挙の行方である。岩手県の人口は2040年には80万人まで落ち込むと言われている。昨年の統一地方選挙後の県内各首長がこの問題に関してどのような解決策を打ち出していくのか、一方岸田政権がいつの段階で衆議院解散を決断するかが関心事である。





協同組合盛岡卸センター  
理事長 藤村 文昭 氏

### 1. 昨年の貴業界（貴社）の状況はどうだったか？



各業種において、物価高や円安により商品価格の上昇や資材不足による工期の遅れなど経営に大きな影響を受けている。組合運営は組合会館外壁の大規模改修や団地内の道路に200基の防犯灯を設置するなどの設備投資を行った。新型コロナが5類に移行したことで、組合行事の多くを再開することが出来た。

### 2. 2024年の貴業界の見通しをどう見るか？



年明け後もエネルギーや原材料の高騰に加えて、所謂2024年問題による物流の停滞などの不安要素が多く、各業種とも厳しい状況が続くと思われる。そうした中で、

慢性的な人手不足対策の一環として新規事業や組合員従業員を対象とした新たなイベントの開催、予防接種などの福利厚生事業を通じて組合員支援を行っていききたい。

### 3. 貴業界の重要課題は何か？

団地建設から50年が経過し、団地内の社会インフラの再整備が必要となっているが、複数の自治体に関係することから足並みが揃わない。また、組合施設や組合員施設も老朽化による再整備が必要となっていることから高度化事業の活用も含めて今後計画的に進める必要がある。更に、既存の共同事業の衰退の改善策と新たな事業の創出に努めたい。

### 4. 2024年の県内経済・社会等の関心ごととは何か？

物流・運送業界の「2024年問題」や団魂の世代が後期高齢者となる「2025年問題」など少子高齢化による慢性的な人手不足や賃金の上昇が心配される。これらを見据えて近隣に竣工した東北最大の物流倉庫の稼働状況と団地周辺への好影響を期待したい。



岩手繊維株式会社  
代表取締役社長 清水 善光 氏

### 1. 昨年の貴業界（貴社）の状況はどうだったか？



コロナ禍が収束に向かい、個人消費が上向いてきた一方で、ウクライナ紛争に加え、中東情勢の不安定さも加わった為、円安、原油高の影響が激しく、売上低迷の一因となった。また、記録的な猛暑で季節商品の売上が減少した小売店の廃業と地方量販店の衣料部門からの撤退も相次ぎ、厳しい一年となった。

### 2. 2024年の貴業界の見通しをどう見るか？



今年は円高による商品価格の上昇は一服すると思われ、個人消費の伸びが見込まれるが、繊維業界においては、賃上

げが物価上昇に追いつかず、また、中小企業にはその余力も乏しい。繊維製品の購買順位は低く、仮にこのまま全国的賃上げが実現しても、業界としては売上増に期待できず、厳しい一年になると思われる。

### 3. 貴業界の重要課題は何か？

人口減少、過疎化の進行の中で、衣料品販売店の数は減少している。地域で最寄品を扱う店舗が減ることは、地域の疲弊につながる。今後は異業種店舗での衣料品の取り扱いも開拓する必要があると共に、無人店舗や自動販売機の設置等も検討する必要があると思われる。

### 4. 2024年の県内経済・社会等の関心ごととは何か？

県全体での所得向上を目指す為の施策に関心を持つ。GDPに占める割合の大きい個人消費の増大には所得の向上が不可欠であり、税制や補助制度の見直しによる消費循環を生み出す施策を国と一体化した実施を行なえるように期待したい。



株式会社川徳

代表取締役社長 荒道 泰之氏

### 1. 昨年の貴業界（貴社）の状況はどうだったか？



新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、百貨店業界自体のトレンドはファッション関連商品や化粧品を中心に上昇傾向にあり、顧客ニーズの多様化が更に加速する一方、食品やアパレル分野の価格上昇による買い控え、温暖化など異常気象による冬物重衣料の不振等もあり売上回復までには至っていない。

### 2. 2024年の貴業界の見通しをどう見るか？



大都市圏の百貨店はインバウンドや富裕層等の高額消費が顕著で業績好調に推移する一方、東北地方を含む地方都市

百貨店は物価高による節約傾向が進む可能性があり、2023年同様、業界内での地域間格差は解消されないと思われる。地方百貨店では地域特性を打ち出した店づくりが益々必要となってくるだろう。

### 3. 貴業界の重要課題は何か？

百貨店市場自体は縮小傾向であり、EC等の台頭による販売チャネルの増加を踏まえ、モノ消費よりコト・イミ消費への転換が迫られている。その為にもマスのターゲットではなく一人ひとりの趣味趣向に合ったアプローチの体制強化が重要となっている。その他、労働力不足や物流2024年問題などの課題も山積している。

### 4. 2024年の県内経済・社会等の関心ごととは何か？

昨年ニューヨークタイムズに掲載された記事の影響により国内外より盛岡市への観光客が増えており、中心市街地活性化に向けた取り組みが2024年も引き続き各事業において具体的かつ積極的に行われることを期待している。



盛岡ターミナルビル株式会社

代表取締役社長 松澤 一美氏

### 1. 昨年の貴業界（貴社）の状況はどうだったか？



3月に新型コロナウイルスが5類になる発表、桜のシーズンに入り4月から一気に回復した。出張・観光・帰省等、旅客の動きが活性化したことから、回復基調。特に、土産、食堂喫茶はコロナ前を超える水準で全体を牽引した。一方、衣料品等、日常利用の商品はコロナ期でのECへの購買行動の遷移や物価高による生活防衛意識の高まりや猛暑等の気候の影響もあり回復が遅れている。ホテルは、宿泊はインバウンド、バンケットは会議の後の懇親会が開催されている。

### 2. 2024年の貴業界の見通しをどう見るか？



旅客や飲食等の体験型業種や食料品の需要は底堅い一方、物販はコロナ禍で変化したライフスタイル、購買行動の変化が定着、継続が見込まれる。

ホテル宿泊はビジネスマーケットが引き続き縮小トレンドにある。企業・団体活動の活性化、会議招致、活性化とレジャーが伸びると予測している。婚礼は市場の縮小もあるが、披露宴自体の需要の戻りが遅いところ（20代・30代）へのアプローチがカギ。

### 3. 貴業界の重要課題は何か？

- 1) EC化等、デジタル、サステナブルな意識の高まり等、顧客のライフスタイルの変化への対応
- 2) マーケットのニーズに応えられる取引先様も含めた人材の確保と自動化の推進
- 3) 婚礼需要の回復（結婚する人に結婚式の良さを伝える）

### 4. 2024年の県内経済・社会等の関心ごととは何か？

経済回復の中での働き手不足や全国最下位の最低賃金への対応。定住人口に繋がる県のブランディング。盛岡市新市庁舎整備に向けた議論の進展。



株式会社ベルジョイス  
代表取締役社長 澤田 司 氏

### 1. 昨年の貴業界（貴社）の状況はどうだったか？



曇一部雨

当社を含め小売業界は円安による輸入物価やエネルギーコストの上昇が本格化したことで新たな価格体系を模索せざるを得なくなった。それは単に価格だけでなく、商品の品質や店づくり、ネット対応を含めたサービスなど、様々な要素が絡む総力戦を意味した。一方で「みずかみ」という地域密着を旨とする仲間も得ながら、内外共にあらためて成長軌道を固める年となった。

### 2. 2024年の貴業界の見通しをどう見るか？



曇

世界情勢の混迷度が増す中、インフレ昂進と所得増加の二つの動きを注視していく。両者のタイムラグとそれに連動

する消費マインドの変化を見極めることは容易ではない。しかし、その中でローコスト経営を軸に、果敢かつ柔軟な対応ができてこそ食品スーパーは地域のライフラインとしての務めを果たせるものと肝に銘じている。

### 3. 貴業界の重要課題は何か？

食品スーパーは好況による急成長もないが、不況による落込みも少ないと言われて久しい。しかし、昨今のグローバルな情勢変化を背景に近未来型のスーパーマーケットのあり様を探求する必要性に迫られている。「ネットとリアル融合」と言うは易し、されど実践は難し。当社もグループノウハウをもとにオンラインショップを「小さく生んで大きく育てる」ことに着手した。その先の果実を確かなものにしていきたい。

### 4. 2024年の県内経済・社会等の関心ごととは何か？

円の独歩安がいつまで続くのか、東欧・中東の戦渦の早期収束は叶うのか、等々、我々が依拠する世界情勢にはあまりにも変数が増え過ぎた。こんな時代だからこそ、地に足をつけ、お客様の一挙手一投足に目を凝らしていく。



岩手県自動車販売店協会  
会長 元持 儀之 氏

### 1. 昨年の貴業界（貴社）の状況はどうだったか？



曇

半導体不足が解消に向かう中、昨年1月～11月の新車登録台数は280万台、前年同比19%と11か月連続プラスで推移し、グローバルでのコロナ前2019年と比較しても9割強の水準まで回復している。今後とも自動車生産が好調に推移し、新車販売も増加基調が継続していくことを期待している。

### 2. 2024年の貴業界の見通しをどう見るか？



晴一部曇

自動車業界は、環境変化により100年に1度の変革期が訪れております。2030年に向けて生産台数は鈍化するとの予測もある中、自動車の国内販売台数は1990年の約598万台から、2022年には約256万台と約6割減少。登録車の保有台数は2002年をピークに減少に転

じ、円安や物価高騰・人材不足など、今後も先行き不透明な厳しい事業環境にある。

### 3. 貴業界の重要課題は何か？

公共交通機関の乏しい地方都市では、世帯当たりの保有台数が多いのにもかかわらず過重な税負担を強いられていることから税負担の軽減。少子高齢化や人口減少、若者の車離れ、近年の経済状況や自動車に対する価値観の変化により日本だけが長期的な下落傾向が続いていることが自動車業界にとっての大きな課題となっている。また、県内の交通死亡事故が増加傾向にあるため、予防・衝突安全機能の高い車の普及に取り組みたい。

### 4. 2024年の県内経済・社会等の関心ごととは何か？

物流の停滞が懸念される「2024年問題」。長距離輸送制限や売上の減少、トラックの保有台数の影響等、諸問題発生への対応が求められる。また、2022年に「いわて気候非常事態宣言」が発表されているが、温室効果ガスを多く排出する商品を扱う業界として、温室効果ガスの把握や削減に取り組むカーボンニュートラルへの取り組みを業界一丸となって進めていきたい。





株式会社薬王堂ホールディングス  
代表取締役社長 西郷 辰弘 氏

### 1. 昨年の貴業界（貴社）の状況はどうだったか？



晴

昨年は新型コロナウイルス感染症が5類感染症に引き下げられ経済活動が正常化されたが、長引く円安や物価高、電気代の高騰などでコスト増への対応に苦慮した厳しい年であった。お客様の生活防衛意識は高まっており、商品の値上げが続く中でESLP（Everyday Same Low Price）推進の重要性を再認識した1年であった。

### 2. 2024年の貴業界の見通しをどう見るか？



晴一部曇

ドラッグストア業界は業界再編の渦中にあり、依然としてM&Aの動きは活発である。昨年は業界大手への投資ファンドによる介入の試みがあり、今後も大手による大

量出店とM&Aにより寡占化が進むとみられる。当社は自社独立の方針に変わりはないが、競争環境が激化する中で、大手ドラッグストアとのブランドの差別化が求められる。

### 3. 貴業界の重要課題は何か？

労働人口減少による人手不足の中でいかに従業員を確保できるか、いかに生産性を向上させられるかが継続的な課題である。またサプライチェーンを維持するため物流の2024年問題への対応は差し迫った課題である。当社は別々に配送していた常温食品と非食品の一括配送に向け準備するなど物流の効率化を進めており、持続可能なサプライチェーンの維持に取り組んでいく。

### 4. 2024年の県内経済・社会等の関心ごとは何か？

岩手県を含む東北地方は、少子高齢化・人口減少によりさまざまな課題に直面しており、当社が営む小売業では今後増えてくるだろう買い物困難者への対応もその一つである。お客様のご自宅まで商品をお届けするラストワンマイル配送サービスなどの充実を進めながら、U・Iターンなど定住人口増加につながる施策に期待したい。



岩手県商店街振興組合連合会  
会長 佐藤 良介 氏

### 1. 昨年の貴業界（貴社）の状況はどうだったか？



曇

コロナが5類に移行し、各地で4年ぶりの通常開催となるイベントが多く見られ、久しぶりに街ににぎわいが戻ってきた実感を持ってました。一方、人口減少、高齢化、人手不足、賃金上昇等に加え、ウクライナ侵攻によるエネルギー費・原材料価格の高騰等、地方の商店街や中小小売商業者にとっては、厳しい状況が続いております。

### 2. 2024年の貴業界の見通しをどう見るか？



曇

コロナ禍で外出を我慢していた人たちが、コロナ5類移行をきっかけに外に出かけるようになりました。人出が街に戻りつつあり、にぎわいがあちこちで見られるよ

うになりました。2024年は昨年以上に街に人出が増えるものと予測します。皆様に商店街に足を運んでもらえるように魅力ある商店街づくりに尽力していきます。

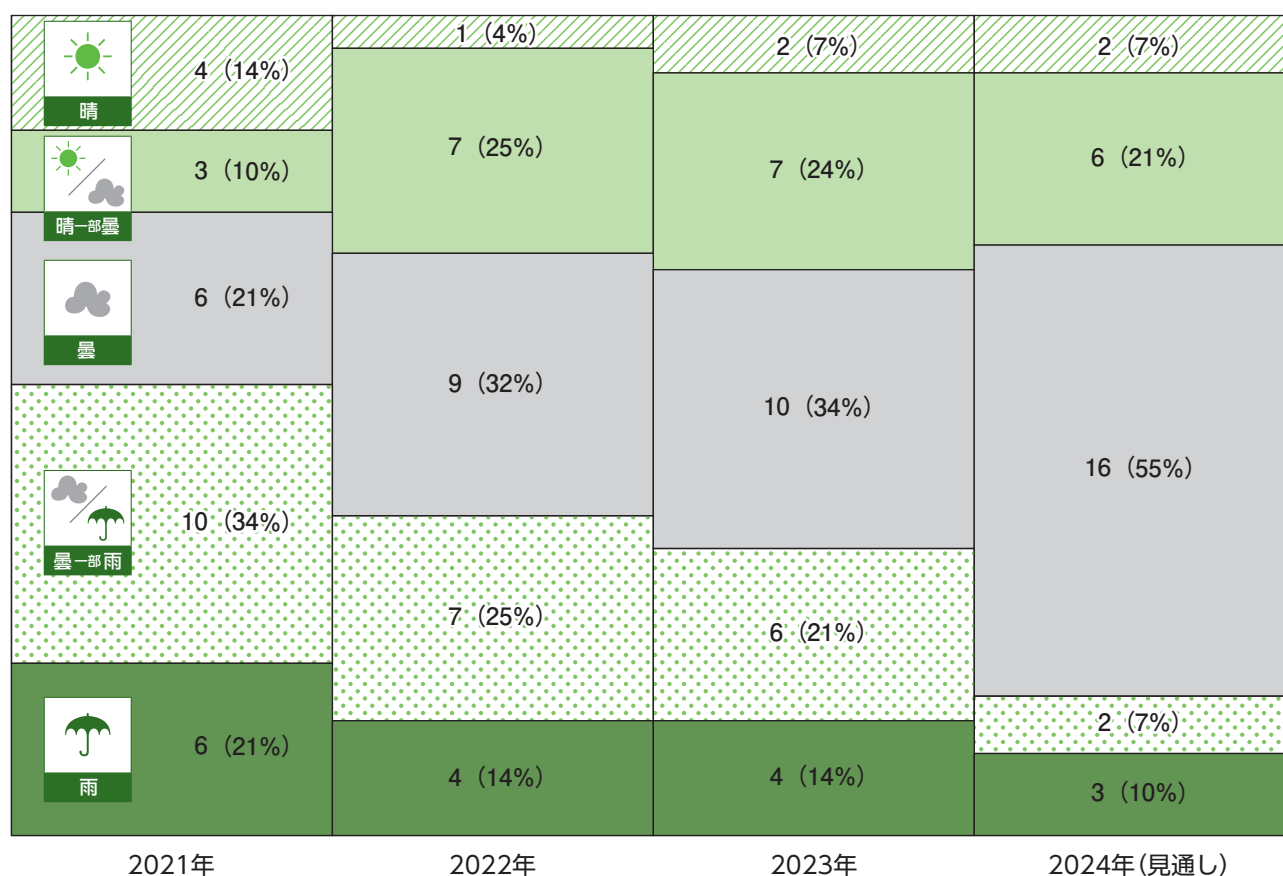
### 3. 貴業界の重要課題は何か？

中小企業庁が実施した商店街実態調査によると現況の商店街が抱える問題は、「経営者の高齢化による後継者問題」、「店舗等の老朽化」、「集客力が高い・話題性のある店舗・業種が少ない又は無い」、「商圈人口の減少」が上位を占めました。本県商店街も同様の課題を持ち、課題解決に向けて早急に行動する必要があります。

### 4. 2024年の県内経済・社会等の関心ごとは何か？

人口減少、少子高齢化が加速する中、商店街が抱える課題にどう立ち向かっていくべきか。特に「経営者の高齢化による後継者問題」は深刻です。事業を承継する人がいなければ事業を継続できません。商店街単体では解決できない課題もあり、関係機関の協力を得ながら、ひとつひとつの課題に対して丁寧に対処していきたいです。

業況天気図の推移 (2021年～2024年)  
(先数 (割合))



地域経済には特有の環境や傾向による課題が存在します。  
私たちは岩手銀行とともに取引先の伴走者として寄り添い続けます。

## ラインナップ >>

|                                                                                                                                              |                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>事業承継</div> <div><ul style="list-style-type: none"><li>・株式集約</li><li>・株式移転</li><li>・承継計画</li><li>・納税資金準備</li><li>・後継者育成</li></ul></div>  | <div>組織再編</div> <div><ul style="list-style-type: none"><li>・グループ経営</li><li>・親会社化</li><li>・資本関係整理</li><li>・法人成り</li><li>・資産管理会社</li></ul></div>     | <div>M &amp; A</div> <div><ul style="list-style-type: none"><li>・株主利潤</li><li>・雇用、カンバン継続</li><li>・業界再編</li><li>・事業多角化</li><li>・広域マッチング</li></ul></div>         |                                                                                                                                                    |
| <div>民事信託</div> <div><ul style="list-style-type: none"><li>・民事信託</li><li>・家族信託</li><li>・遺言信託</li><li>・遺産整理</li></ul></div>                   | <div>人材紹介</div> <div><ul style="list-style-type: none"><li>・幹部人材</li><li>・中核人材</li><li>・専門人材</li><li>・社長の右腕</li><li>・社長後継者</li></ul></div>         | <div>専門家・副業人材紹介</div> <div><ul style="list-style-type: none"><li>・EC強化</li><li>・SNS・WEBマーケティング</li><li>・DX支援</li><li>・SDGs、脱炭素推進</li><li>・海外営業</li></ul></div> | <div>人材育成</div> <div><ul style="list-style-type: none"><li>・新人研修</li><li>・財務研修</li><li>・ビジネスマナー研修</li><li>・リーダー育成</li><li>・営業スキル研修</li></ul></div> |
| <div>成長戦略</div> <div><ul style="list-style-type: none"><li>・現状分析</li><li>・事業計画</li><li>・経営ビジョン</li><li>・事業再構築</li><li>・補助金申請</li></ul></div> | <div>生産性向上</div> <div><ul style="list-style-type: none"><li>・業務効率化</li><li>・デジタル化</li><li>・ISO、HACCP取得</li><li>・現場改善</li><li>・5S活動</li></ul></div> | <div>人事労務</div> <div><ul style="list-style-type: none"><li>・人事制度</li><li>・労務管理</li><li>・社員満足度</li><li>・社員評価</li><li>・自律型組織</li></ul></div>                     | <div>リサーチ</div> <div><ul style="list-style-type: none"><li>・受託調査</li><li>・経済調査分析</li><li>・産業調査分析</li><li>・経済講演</li></ul></div>                     |

## お取引先の声 >>

地元の事情がわかるので相談しやすい  
(盛岡市・小売業)

M&Aで数百年の伝統を後世に残せた  
(盛岡市・製造業)

無事に補助金申請が採択され感謝  
(北上市・建設業)

地元ならではの出会い・引合せに感謝  
(奥州市・製造業)

紹介でハイスکیلな人材と仕事できた  
(八戸市・小売業)

地域特性を加味した戦略が策定できた  
(釜石市・小売業)

複数のコンサルの中で最も親身に提案してくれた  
(一関市・製造業)

会社の株承継から個人相続まで任せられて安心  
(宮古市・建設業)

高齢の親の財産管理の不安が解消できた  
(紫波町・個人のお客様)



Iwagin R&Consulting

いわぎんリサーチ&コンサルティング株式会社

〒020-8688 岩手県盛岡市中央通1丁目2番3号 tel.019-624-8344

くわしい事業内容  
お問い合わせ







岩手には、岩手を知る、  
ビジネスコンサルティングを。

# I am your PARTNER.

地域経済には特有の環境や傾向による課題が存在します。

私たちは岩手銀行グループのコンサルティングエキスパートとして

地域経済を統計的かつ体感で日常的に把握。

そのうえで密接に地域のみなさまと関わり、ご相談をお伺いし、

課題解決のその後までみなさまの伴走者として寄り添い続けます。

**事業承継／M&A／人材紹介**  
**民事信託／経営支援／地域経済調査**

いわぎんリサーチ&コンサルティング株式会社

本社：岩手銀行本店内 tel.019-624-8344



いわぎんリサーチ&コンサルティング(株) リサーチレポート 2024年1月

発行 行 いわぎんリサーチ&コンサルティング株式会社 発行責任者 代表取締役 佐々木泰司

〒020-8688 岩手県盛岡市中央通一丁目2番3号

TEL：019-622-1212

<https://www.iwatebank.co.jp/company/group/consulting/index>